

平成31年2月26日

平成30年度 学校関係者評価報告書

学校法人 栗原学園
オホーツク社会福祉専門学校
学校関係者評価委員会

学校法人栗原学園の学校関係者評価に関する規定に基づき、学校関係者評価委員会を実施しました。下記にその内容を公表いたします。今後も各評価委員からのご意見を真摯に受け止め、より良い教育を目指し学校教職員一同努力して参ります。

1. 開催日時 平成31年2月21日（木）18：00～
2. 場 所 北見情報ビジネス専門学校 1F会議室
3. 出席者 規程の委員および学校職員
4. 次 第
 - (1) 開会
 - (2) 理事長挨拶
 - (3) 学校関係者評価委員紹介
 - (4) 協議事項
 - ①学校の概要と現状
 - ②各校の取り組みと自己点検評価結果について
 - ③意見聴取
 - (5) 閉会

学校法人栗原学園 学校関係者評価委員会は平成30年度自己点検・自己評価報告書に基づいて学校関係者評価を実施し、以下のとおり報告いたします。

1. 学校関係者評価委員会

選出区分	氏名	任期	期数	就任時の職名等
卒業生	野口 富弘	29. 4. 1～ 31. 3. 31	1	特定非営利活動法人とむての森 常任理事
卒業生	藤田 茜	29. 4. 1～ 31. 3. 31	1	学校法人明和学園 認定こども園 保育園ステージ・こどもの国 主任
卒業生	宮野 汐里	29. 4. 1～ 31. 3. 31	1	医療法人社団 いのこ歯科医院 歯科衛生士
卒業生	秋山 裕晴	29. 4. 1～ 31. 3. 31	1	株式会社北見通運株式会社 管理部 管理課 主査
卒業生	坂井 浩	29. 4. 1～ 31. 3. 31	1	株式会社坂井印刷 代表取締役
学校関係者	棧 邦雄	29. 4. 1～ 31. 3. 31	1	学校法人栗原学園 学園長
学校関係者	坂下 孝江	29. 4. 1～ 31. 3. 31	1	オホーツク社会福祉専門学校 前校長

2. 基準項目ごとの学校関係者評価・意見

項 目	評 価
	オホーツク社会福祉専門学校
基準1 教育理念・目標等	<ul style="list-style-type: none"> ・教育目標等パンフレットなどに明記され問題はないが、この理念や目標が基本となることから、今後、自己点検・自己評価について、全職員が十分理解している評価結果であることが求められる。
基準2 学校運営	<ul style="list-style-type: none"> ・十分とは言えないが周知徹底されている。
基準3 教育活動	<ul style="list-style-type: none"> ・意見なし ・専門職の関係団体への学生部会に入会し連携を図っている
基準4 学習成果	<ul style="list-style-type: none"> ・意見なし ・卒後の研修会及び学術大会への参加 ・退学者の低減に向けての構築が必要である。 ・卒業生に対して追跡調査等がなされておらず把握できていない
基準5 学生支援	<ul style="list-style-type: none"> ・担任制をとっており、個々の学生ケアに力を入れている。 ・卒業生に対して特に支援体制はなく、連絡・来校する学生に対してのみ対応している現状である。
基準6 教育環境	<ul style="list-style-type: none"> ・学生アンケートの実施や、対応で可能な教育環境（施設設備等）を毎年対応しており、アンケート結果からも改善されていることが伺える。 ・図書が古い。また、ネット環境が整ってきたことにより鮮度の高い新情報が常に得られるため利用が少ない。
基準7 学生募集	<ul style="list-style-type: none"> ・更なる学生募集の徹底が望まれる。 ・個々に他学科の教育内容を十分に把握することが必要。
基準8 財務	<ul style="list-style-type: none"> ・意見なし ・ホームページによる情報公開が必要である。
基準9 法令等の遵守	<ul style="list-style-type: none"> ・ホームページ公開を含め、コンプライアンスを推進することが求められる。

<p>基準 10 社会貢献</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・意見なし ・歯の衛生週間は施設を利用し多職種と連携してイベントを実施して地域住民に貢献している。 ・校舎は、試験会場や講習会等で活用していただいている。施設備品も貸出している。
-----------------------	---

3. 学校関係者評価 全体的な総括について

<p>自己点検・自己評価報告書を見ての全体的な意見</p>	<p>少子化による入学者減少への対応が講じられている。 保護者、生徒が当校に期待するニーズや、進学先、就職先での企業が求める人材を育成している。 教職員が生徒・学生ひとり一人に向き合い、教育されていることが評価できる。 特に健康安全の教育において努力されていること明確になっている。</p>
-------------------------------	---

平成30年度 オホーツク社会福祉専門学校 自己点検・自己評価報告書

評価項目

(1) 教育理念・目標等

		点数
1	理念・目標・育成人材は定められているか	4
2	社会のニーズ等を踏まえた学園の構想を抱いているか	4
3	理念・目標・育成人材像・特色などが学生・保護者等に周知されているか	4

(2) 学校運営

4	目標等に沿った運営方針が策定されているか	4
5	運営組織は明確にされ、有効に機能しているか	3
6	情報システム等による業務の効率化が図られているか	4
7	学園内総合力を高めるための連携と協働体制の確立が図られているか	3
8	教育活動に関する情報公開が適切になされているか	3

(3) 教育活動

9	教育理念・育成人材像や業界のニーズを踏まえた教育機関として修業年限等に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	4
10	学園行事の適切な企画、円滑な運営がなされているか。	4
11	授業規律を確保し、指導体制の立て直しが図られているか	4
12	関連分野の企業、関連施設等、業界団体等の連携により、教育課程の作成、見直しが行われているか	4
13	成績評価、単位認定の基準は明確になっているか	4
14	授業評価の実施、評価体制があるか	4
15	職員の能力開発のための研修が行われているか	4
16	クラス担任と教科担任の連携を密にし、学生の実態にあった指導法の確立に努めているか	4

(4) 教育成果

17	就職率の向上は図られているか	4
18	退学率の低減は図られているか	4
19	卒業生・在校生の社会的な活動及び評価を把握しているか	4

(5) 学生支援

20	学生相談に関する体制は整備されているか	4
21	学生の経済的側面に対する支援は整備されているか	4
22	保護者と適切に連携しているか	4
23	卒業生への支援体制はあるか	4
24	LHRなどを効果的に活用し、職業観の育成に努めているか	4
25	社会のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	4
26	学生が自己理解、自己啓発、自己実現をするための方策が整備されているか	3

(6) 教育環境

27	施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるように整備されているか	3
28	図書室利用の活性化が図られているか	3
29	防災に対する体制は整備されているか	4

(7) 学生募集

30	学生の募集は適切に行われているか	4
31	学生募集活動について、教育成果は正確に伝えられているか	4

(8) 財務

32	財務情報の情報公開に対して周知がなされているか。	3
33	学生在籍数に対して適切な財務運営がなされているか。	4

(9) 法令等の遵守

34	法令、専門学校設置基準等の遵守と適切な運営がなされているか	4
35	個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	4

(10) 社会貢献・地域貢献

36	学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	4
37	学生ボランティア活動を奨励・支援しているか	4

※評価基準は5段階で行う。 適切－5 ほぼ適切－4 普通－3 やや適切－2 不適切－1